



事業計画及び成長可能性 に関する事項

株式会社アドバンスト・メディア

2022年6月30日



Advanced Media, Inc.

会社概要



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

設立	1997年12月10日
資本金	69億3,031万円
発行株式数	18,392,724株
上場市場	東京証券取引所グロース市場（3773）
所在地	<ul style="list-style-type: none">■ 本社 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 42F■ 大阪事業所 大阪府大阪市中央区瓦町2-3-10 瓦町中央ビル2 F■ 名古屋営業所 愛知県名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル302■ 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅南4-2-10 南近代ビル5 F
代表	代表取締役会長兼社長 鈴木清幸
従業員数	社員数 単体：206名（平均年齢38.0歳） 連結：237名



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

“HCIの実現”

H=Human

C=Communication

I=Integration

アドバンスト・メディアは、
「キカイ」との自然なコミュニケーションを
実現し、豊かな未来を創造します。



1. ビジネスモデル



Advanced Media, Inc.

事業の内容

当社グループ（当社および当社の関係会社）は、当社（株式会社アドバンスト・メディア）と連結子会社2社、非連結子会社1社、持分法適用会社1社により構成されており、事業セグメントは、音声事業の単一セグメントであります。

音声事業

- ① **AmiVoice**® を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「**ソリューション事業**」
- ② **AmiVoice**® を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「**プロダクト事業**」
- ③ 企業内のユーザーや一般消費者へ **AmiVoice**® をサービス利用の形で提供する「**サービス事業**」

なお、音声事業の単一セグメントは、**既存コアビジネスをBSR1（第一の成長エンジン）**、新規ビジネスの創生、M&A、海外事業を**BSR2（第二の成長エンジン）**と定義し、8のプロフィットユニットで構成されております。

第一の成長エンジン（既存コアビジネス）

当社のCTI事業部、VoXT事業部、医療事業部、STF事業部の4つのプロフィットユニットで構成をしております。

第二の成長エンジン（新規ビジネスの創生、M&A、海外事業）

当社の海外事業部、ビジネス開発センター、および連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）、株式会社速記センターつくばの4つのプロフィットユニットで構成をしております。

注) 事業部名称の語源は次のとおりです。
CTI: Computer Telephony Integration
VoXT: Voice Texting
STF: Speech Transformation

製品・サービス内容①

	主な製品・サービス	主な顧客	サービス内容
B S R 1	CTI事業部	AmiVoice Communication Suite AmiVoice CQM Assist AmiVoice TextStream	コンタクトセンター 通話の全文リアルタイムテキスト化、管理者による複数通話同時モニタリング、感情解析などで応対品質向上を支援
	VoXT事業部	AmiVoice ScribeAssis、 ProVoXT CyberScribe	地方自治体、 各種民間企業 会議や講演の音声を自動テキスト化し、自治体・民間企業のRPA化を促進する音声認識文字起こしサービスを提供
	医療事業部	AmiVoice Ex7 AmiVoice CLx AmiVoice iNote	病院、診療所、 放射線科、調剤薬局 電子カルテや読影レポートなど、各種医療文書の作成を音声認識で効率化し、医療現場の働き方改革に貢献
	STF事業部	AmiVoice Cloud Platform AmiVoice Keyboard AmiVoice SF-CMS	製造・物流・金融・ 製薬等、各種民間企業 音声認識機能をWebサイトやアプリケーションに実装するためのAPI開発ツール

製品・サービス内容②

		主な製品・サービス	主な顧客	サービス内容
BSR2 連結 子 会 社	海外事業部	台湾、中国向け AmiVoice Communication Suite	アジア圏の コンタクトセンター	台湾・香港・中国を中心にコールセンター向け音声認識IVRや、中国語版リアルタイム音声認識ソリューションを提供
	ビジネス開発センター	AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム	建設・不動産業	建設現場における検査結果をはじめ、建築工程管理を支援する音声認識ソリューションを提供
	AMIVOICE THAI	タイ語版 AmiVoice Communication Suite	タイ現地の コンタクトセンター	自社開発のタイ語音声認識エンジンを活かした音声認識IVRや、コンタクトセンター向けソリューションをタイ全土に提供
	速記センター つくば	書き起こし・議事録作成業務	地方自治体、裁判所	自治体を中心に会議議事録作成を受託し、音声の書き起こし業務を提供

主要な製品・サービスの紹介①

AmiVoice® Communication Suite (CTI事業部)



コンタクトセンター向けAI音声認識ソリューション

豊富な機能でコールセンター業務を強力にサポートし、応対品質向上・顧客満足度向上・業務効率化・売上向上など、コンタクトセンターの課題を解決します。各業界に特化した高精度な音声認識エンジンをベースに企業それぞれのニーズに合わせて柔軟にカスタマイズすることも可能です。



AmiVoice® ScribeAssist (VoXT事業部)



AI音声認識 文字起こし支援アプリケーション

Web会議や商談、会見等、対面・非対面の幅広いシーンで利用できるスタンドアロン型文字起こし支援アプリケーションです。会議をしながら文字化・記録するリアルタイム認識と、録音データを文字化するバッチ認識、どちらにも対応しています。Zoomと連携して認識結果を字幕表示することも可能です。



AmiVoice® Ex7 (医療事業部)



話したら、即、入力。医療現場の記録をスピード作成

AmiVoice Ex7はマイクで話すだけで文章が作成できるソフトウェアです。医療の現場で必要とされる電子カルテへの入力、服薬指導や読影レポートの作成から診療情報提供書の準備まで、PCで行う様々な文章入力の負担を軽減します。



主要な製品・サービスの紹介②

AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム (ビジネス開発センター)



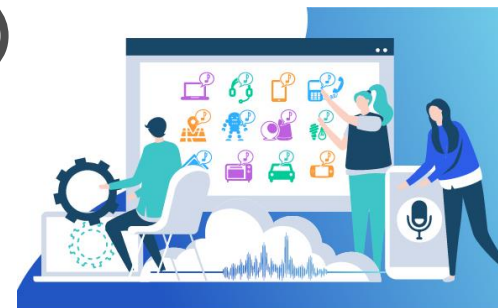
建築検査用の音声入力アプリ。AIが業者を自動振分け！

建築仕上げ検査、配筋検査、安全パトロール、内覧会用などの音声入力アプリ。
指摘事項を発話して検査結果入力完了。AIが協力会社を自動振り分けし仕分け作業不要です。
すでに100社以上でご利用いただいています。

AmiVoice® Cloud Platform (STF事業部)

音声認識APIを提供する開発プラットフォーム

AmiVoice 音声認識API の活用により、クライアントアプリケーションに特別なライブラリを組み込む事なく、音声認識機能を実装できます。音声文字化や音声対話、音声制御、音声翻訳等、アプリケーション、Webサイト等の各種サービスにご使用いただけます。



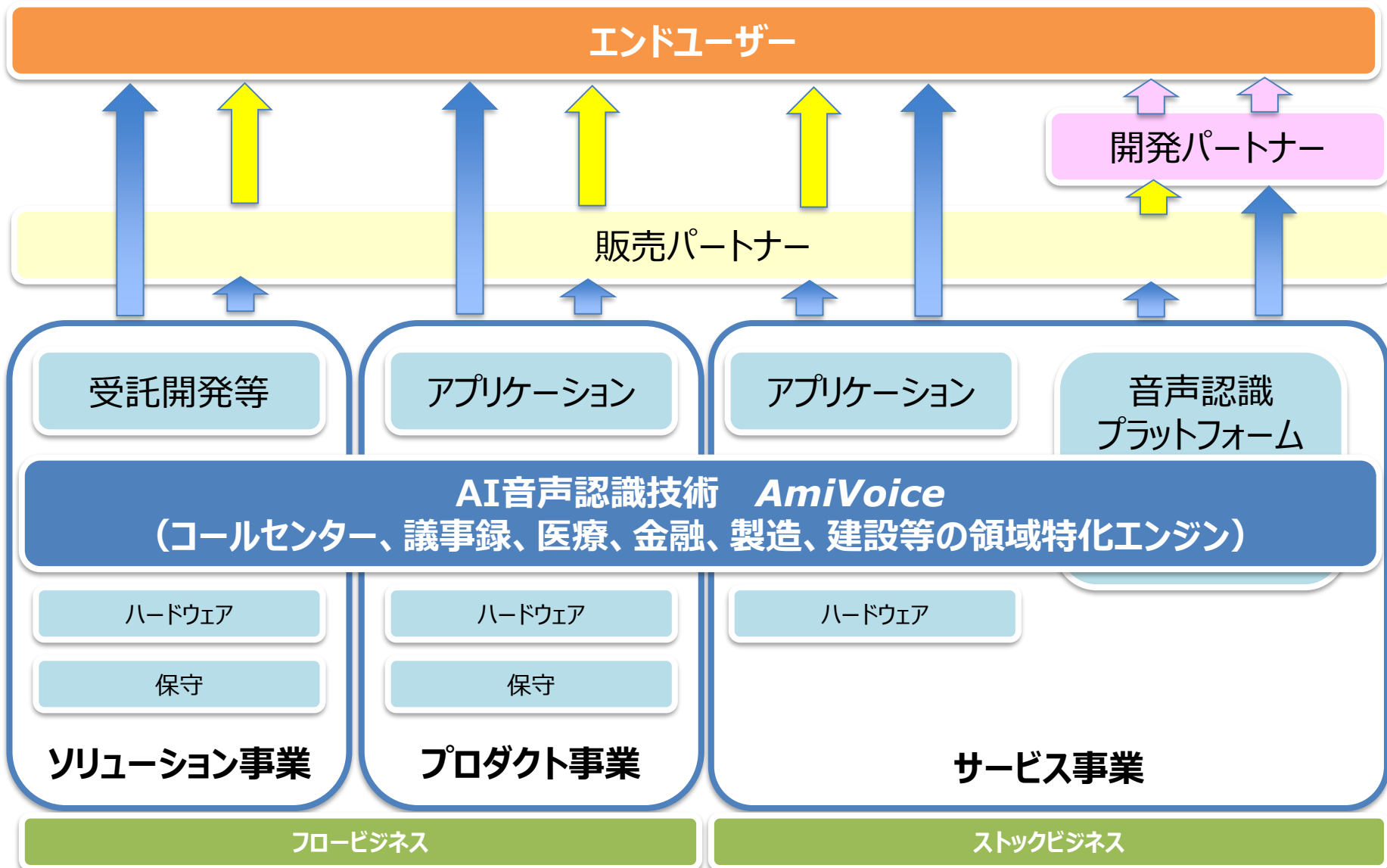
AmiVoice® Front WT01 (Bluetoothマイク)



AmiVoice® Front ST01 (スタンドマイク)



ビジネスモデル

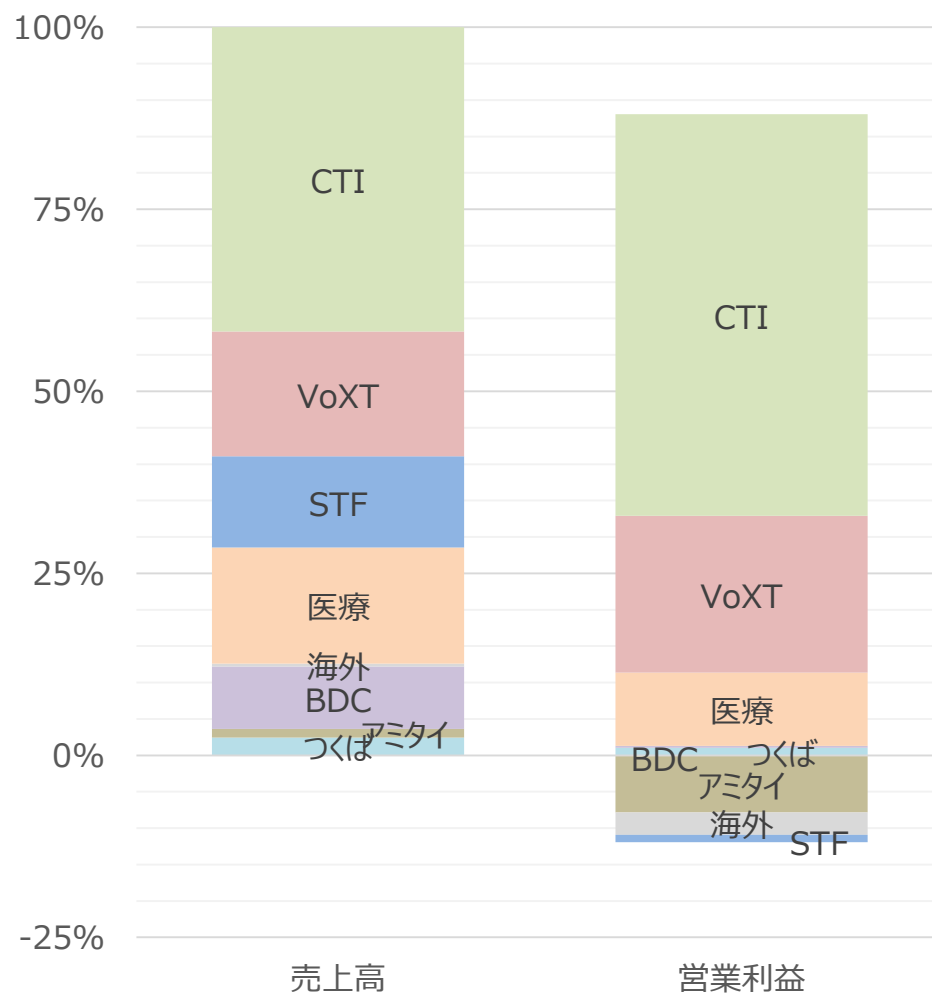


分野別の実績（2022年3月期）

単位：百万円

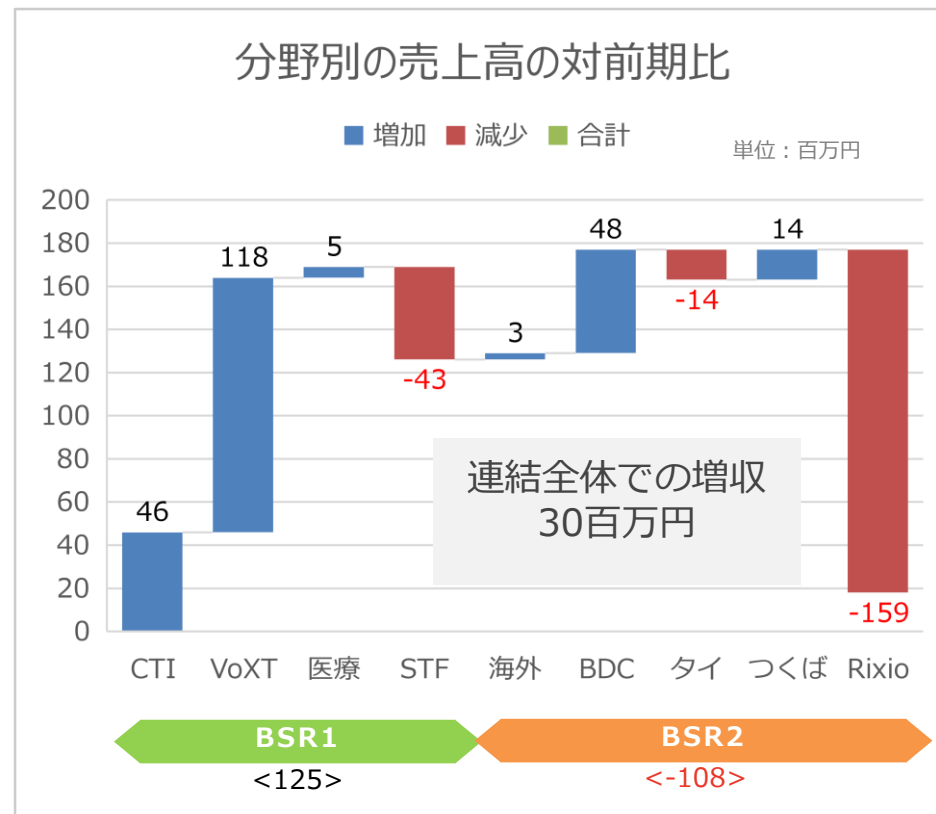
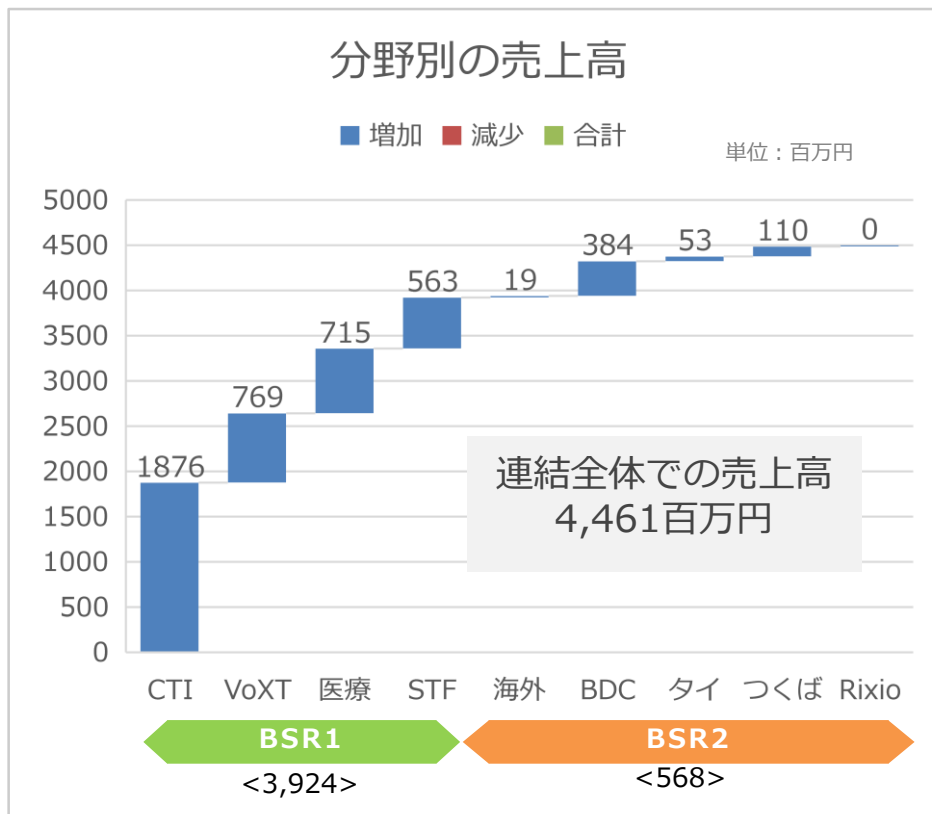
		2022年3月期	
BUS1	CTI事業部	1,876	42.0%
	VoXT事業部	769	17.2%
	医療事業部	715	16.0%
	STF事業部	563	12.6%
	合計	3,924	88.0%
BUS2	海外事業部	19	0.4%
	ビジネス開発センター	384	8.6%
	連結子会社 AMIVOICE THAI	53	1.2%
	速記センターつくば	110	2.5%
	Rixio	—	—
	合計	568	12.7%
連結調整		-33	-0.7%
合計		4,461	100.0%

構成比



2022年3月期売上高の分析

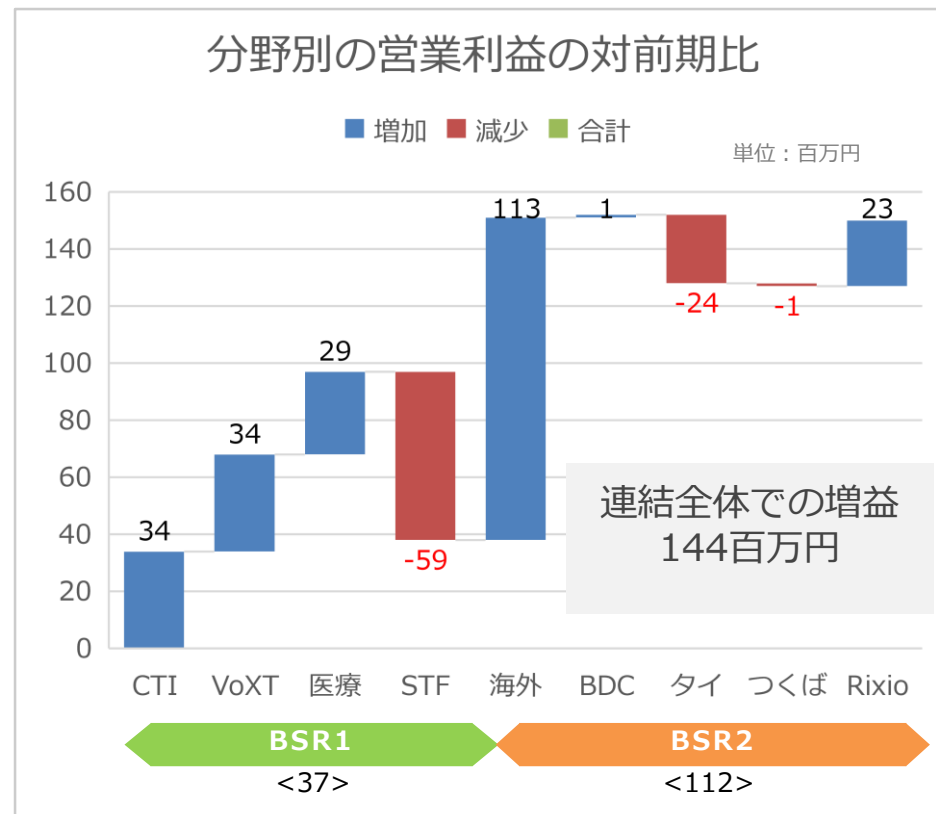
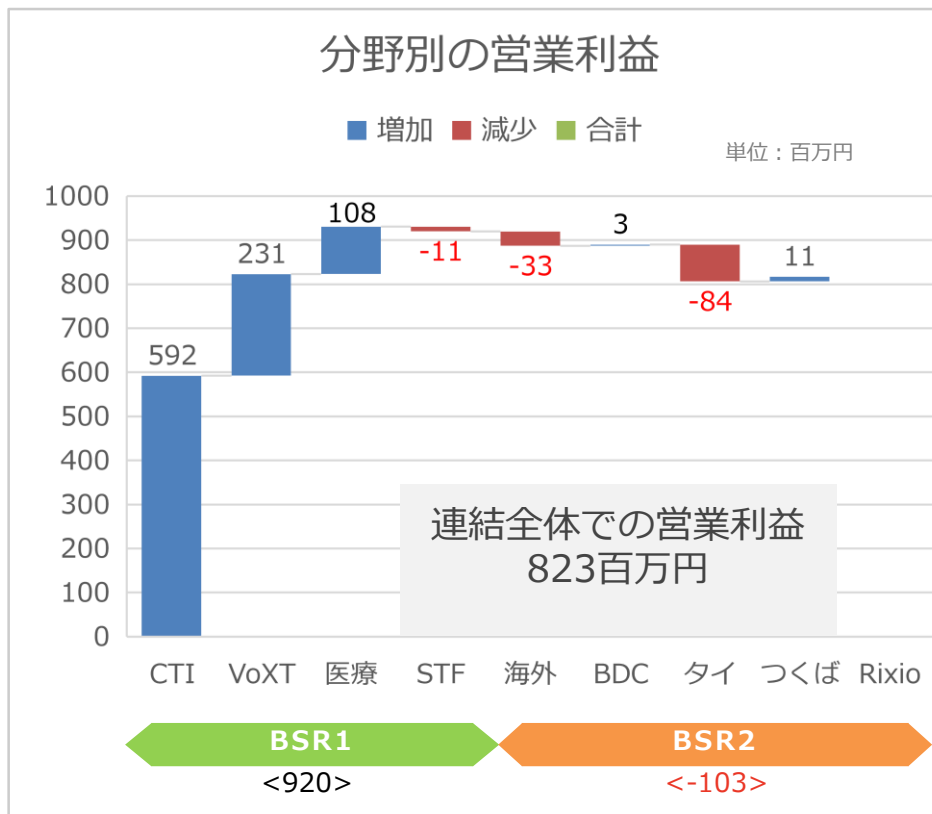
注) 連結調整前



当社グループ全体では、前期比0.7%の増収
 主にCTI事業部、VoXT業部、BDCが増収を牽引
 一方で、前期連結グループであった株式会社Rixioの売上計上が無くなる

2022年3月期営業利益の分析

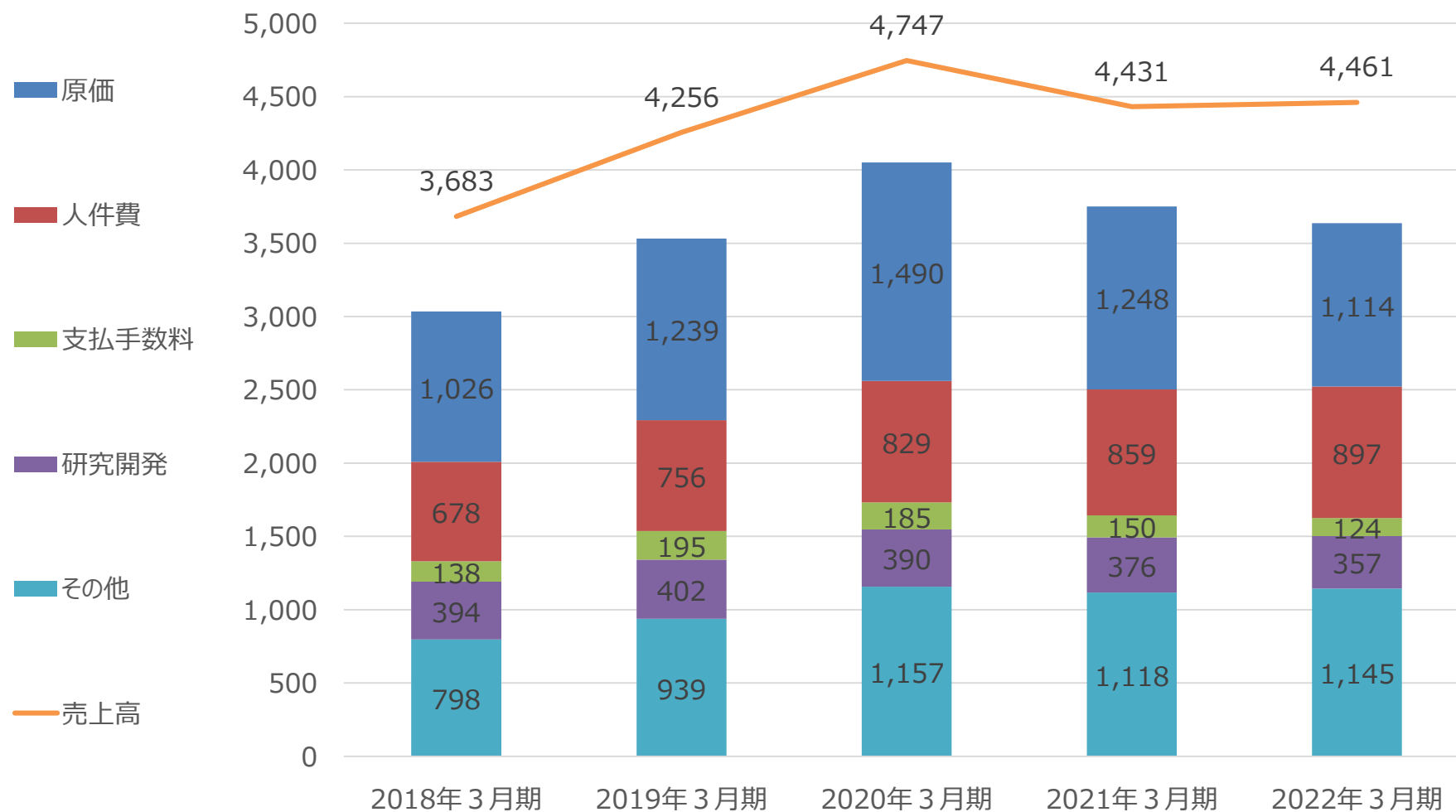
注) 連結調整前



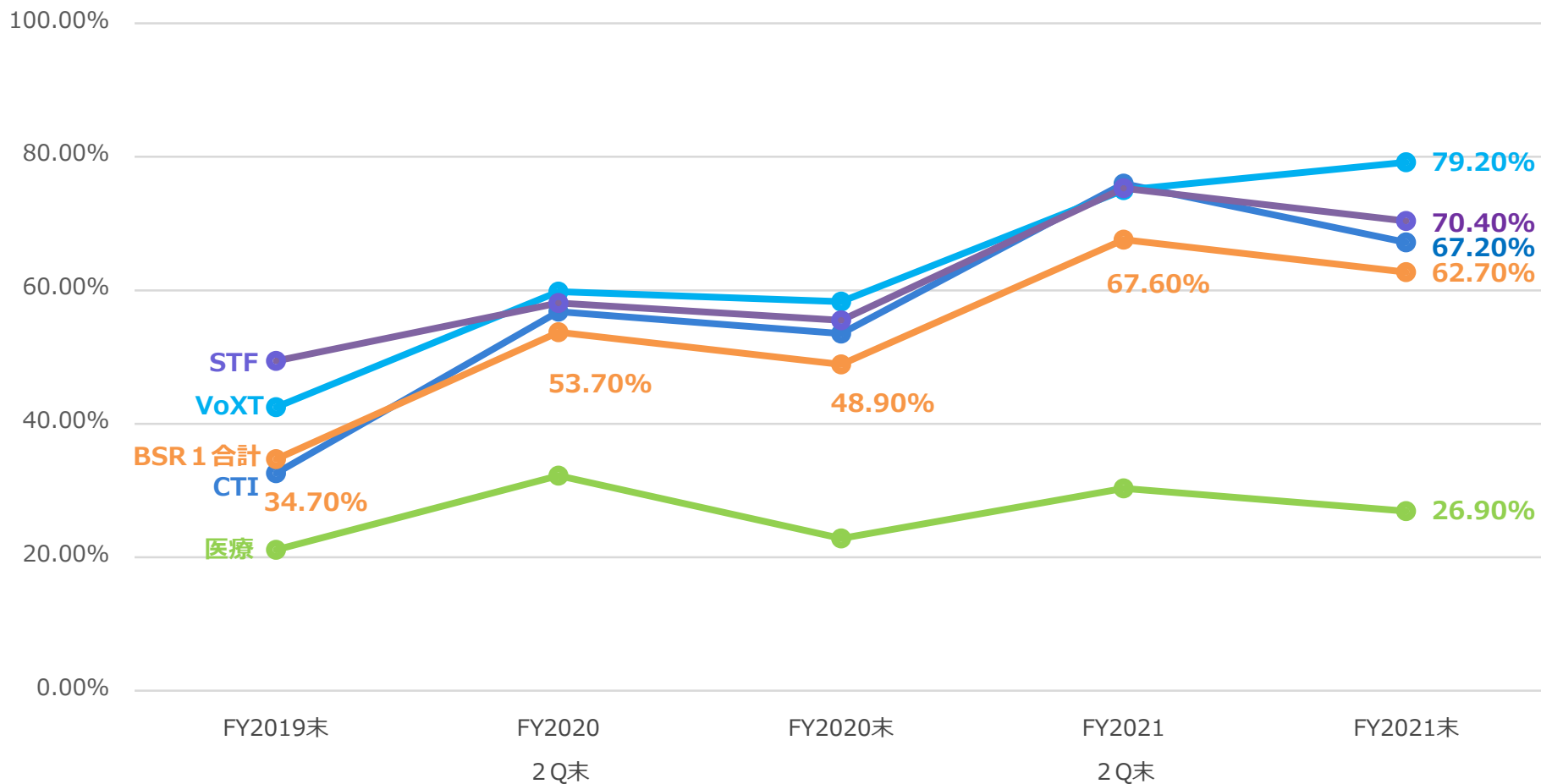
当社グループ全体では、前期比で21.2%増益し最高益
 主には、CTI事業、VoXT事業部、医療事業部が増益
 海外事業部で赤字幅縮小、前期連結グループであった株式会社Rixioの営業損失の計上が無くなる

コスト構造

単位：百万円



ストック比率の推移 (BSR 1)





2.市場環境

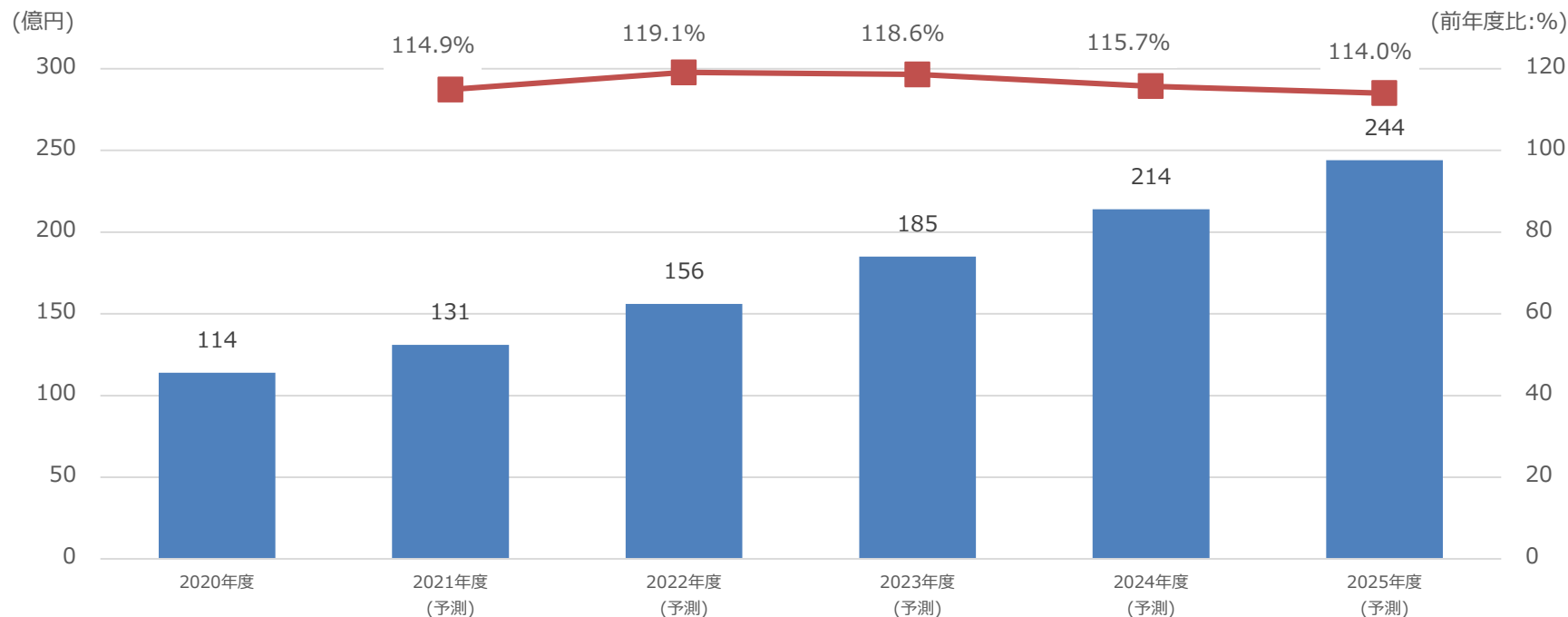


Advanced Media, Inc.

音声認識市場規模（予想）

音声認識市場が2025年度において
2020年度に対して約2倍の伸びを示すとの市場予測

音声認識市場予測



注1:事業者売上高ベース
注2:2021年度以降予測値

※出典:矢野経済研究所「音声認識市場に関する調査（2021年）」2022年1月13日発表
注:市場規模は、音声認識エンジン・音声認識に関連するソフトウェアおよびサービス、音声認識を利用するハードウェアを対象とし、事業者売上高ベースで算出した。

分野別の概況

コンタクトセンター（CTI事業部）

(参考) 当社CAGR 10.3%
(FY2018～FY2021)

- 人手不足、生産性向上、コンプライアンス、などから需要は引き続き旺盛と考えている
- 在宅コンタクトセンターという新たな需要有
- 導入率が低い中小規模での導入余地有

議事録（VoXT事業部）

(参考) 当社CAGR 18.8%
(FY2018～FY2021)

- 生産性向上から会議の文字化需要は引き続き旺盛と考えている
- リモートワークの推進により、WEB会議の文字化という新たな需要有

医療業界（医療事業部）

(参考) 当社CAGR 2.1%
(FY2018～FY2021)

- コロナを契機に病院でのIT化の見直しや、2024年度に医師の残業時間の上限規制があり、需要が伸びるものと考えている
- オンライン診療など新たな需要有

建設業界（ビジネス開発センター）

(参考) 当社CAGR 34.7%
(FY2018～FY2021)

- 人手不足、生産性向上などの背景から、建設業の各社でDXを推進おり、需要は引き続き旺盛と考えている

CAGR：当社実績

音声認識市場 7年連続シェアNo.1



※ 出典：ITR「ITR Market View：AI市場2021」音声認識市場ベンダー別売上金額シェア（2015～2021年度予測）

音声認識市場開拓のこれまで

※2022年3月現在

自治体・民間 累計1,082施設

- 議会・一般会議議事録作成
- 講義・講演、インタビュー録作成
- クラウド文字起こしサービス
- オンライン会議録作成

15,911施設 (46,217ライセンス)

- 放射線／病理画像レポート作成
- 電子カルテ向け音声入力
・病院 ・診療所 ・歯科クリニック
- 調剤薬局向け薬歴作成
- 医療・介護従事者向け音声入力

399社(33,682ライセンス)

- ボイス検査ソリューション
- 仕上げ検査・配筋検査・写真管理

5,685ライセンス

- ハンズフリー・アイズフリー音声操作
- ボイスピッキング
- 音声データ入力・記録
- 作業報告、点検向け音声入力

432社(56,120ライセンス)

- 次世代コールセンターソリューション
・オペレーター能力の向上
・リアルタイムモニタリング
・通話録音の検索と見える化
- 音声AIアシストサービス

45社

- コンシューマー向けクラウドサービス
- コンシューマー向けスタンドアローンアプリ
- 音声AIアシストサービス

1,872ユーザー

- AmiVoice Cloud Platform
- 音声認識開発キット (SDK)

714社

- 次世代セールスソリューション
・営業能力の向上
・接客・対面の見える化
- 営業日報向け音声入力





3.競争力の源泉



Advanced Media, Inc.

競争優位性①

AI音声認識技術 *AmiVoice*



ディープ ラーニング技術

最新のディープラーニング技術を実装。高い認識率を誇ります。



幅広い業種と 専門用語に対応

幅広い業種の専門用語に対応する音声認識エンジン。個別カスタマイズも可能です。



自然な話し言葉の 認識を実現

発話スピードやイントネーション・アクセントへのフレキシブルな対応が可能です。



耐雑音性

強力なノイズ除去技術で、利用場所を選びません。

競争優位性②

AI音声認識技術 AmiVoice

AI音声認識マーケットをリードしていく**市場創造力**

各業界に精通している**パートナーとの強固な連携**

AI音声認識技術に関する知見・経験が豊富な**販売力**

AI音声認識技術に特化したアプリケーション**開発力**

AIなどを用いて価値を増幅させる**応用技術開発力**

AI音声認識技術をアップデートし続ける**基礎技術開発力**

これらの競争優位性が幅広い分野での高いシェア率に繋がっている



※1 出典：ITR「ITR Market View：AI市場2021」音声認識市場：ベンダー別売上金額シェア（2015～2021年度予測）

音声認識市場 ※2

会議議事録向け 当社シェアNo1

57.9%

参考
シェア2位 3.4%

音声認識市場 ※2

医療文書向け 当社シェアNo1

72.2%

参考
シェア2位 2.3%

※2 出典：ITR「ITR Market View：AI市場2021」音声認識市場：ベンダー別売上金額シェア（2021年度予測）



4.事業計画



Advanced Media, Inc.

計画と実績の差異について①

1. FY2021の計画と実績の差異について

(単位：百万円)

	計画	実績	差異	主な要因
売上高	5,000	4,461	△539	①CTI事業部 △220 (計画していた大型案件が来期にずれ込む) ②STF事業部 △100 (製品開発や市場への導入が計画通り進まなかった) ③医療事業部 △80 (新製品の市場への導入が計画通り進まなかった) ④アミタイ △70 (新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞などが影響)
営業利益	900	823	△77	売上高の未達が主な要因であるものの、計画よりも粗利益率が向上し販管費が低減したため、売上高の未達の影響を低減し、営業利益率は計画を維持
営業利益率	18.0%	18.4%	+0.4%	

2. 中期計画の見直しについて

(単位：百万円)

		前回計画	今回計画	差異	主な要因
BSR展開期 FY2022	売上高	6,000	5,000	△1,000	FY2021の実績を踏まえ、計画を見直す
	営業利益	1,200	1,000	△200	営業利益率20%の計画は維持
BSR拡大期 FY2023	売上高	7,000	6,500	△500	FY2021の実績を踏まえ、計画を見直す
	営業利益	1,700	1,600	△100	営業利益率の計画は維持
BSR拡大期 FY2024	売上高	8,500	8,000	△500	FY2021の実績を踏まえ、計画を見直す
	営業利益	2,300	2,200	△100	営業利益率の計画は維持
BSR拡大期 FY2025	売上高	10,000	10,000	±0	P28の主要施策に記載した製品・サービスの導入を進めるとともに、新規ビジネスなどをプラスすることで、最終目標の計画は維持
	営業利益	3,000	3,000	±0	上記のとおり

※ 前回計画：2021年12月28日開示「事業計画及び成長可能性に関する事項」

計画と実績の差異について②

3. BSR 1 の計画と実績の差異について

(単位：百万円)

		前回計画 (連結調整前)	今回計画 (連結調整前)	差異	主な要因
BSR展開期 FY2022	売上高	5,100	4,350	△750	FY2021の実績を踏まえ、計画を見直す
	営業利益	1,200	965	△235	FY2021の実績を踏まえ、計画を見直す
BSR拡大期 FY2025	売上高	8,100	7,370	△730	FY2021の実績を踏まえ、計画を見直す
	営業利益	2,700	2,448	△252	営業利益率の計画は維持

4. BSR 2 の計画と実績の差異について

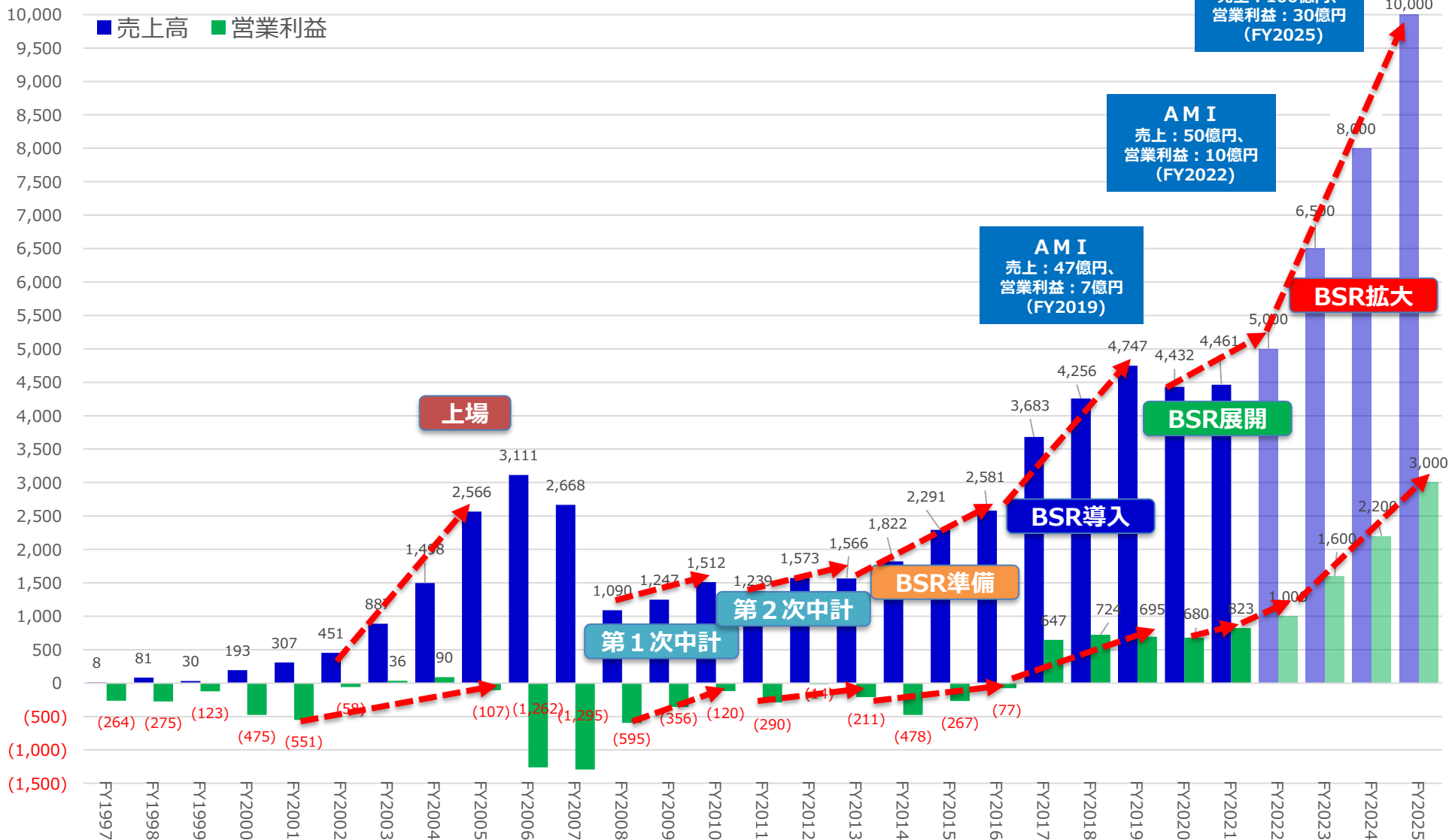
(単位：百万円)

		前回計画 (連結調整前)	今回計画 (連結調整前)	差異	主な要因
BSR展開期 FY2022	売上高	900	700	△200	FY2021の実績を踏まえ、計画を見直す
	営業利益	黒字化	黒字化		
BSR拡大期 FY2025	売上高	1,900	1,850	△50	FY2021の実績を踏まえ、計画を見直す
	営業利益	300	318	+18	FY2021の実績を踏まえ、計画を見直す

※ 前回計画：2021年12月28日開示「事業計画及び成長可能性に関する事項」

AMIグループの業績推移とこれから

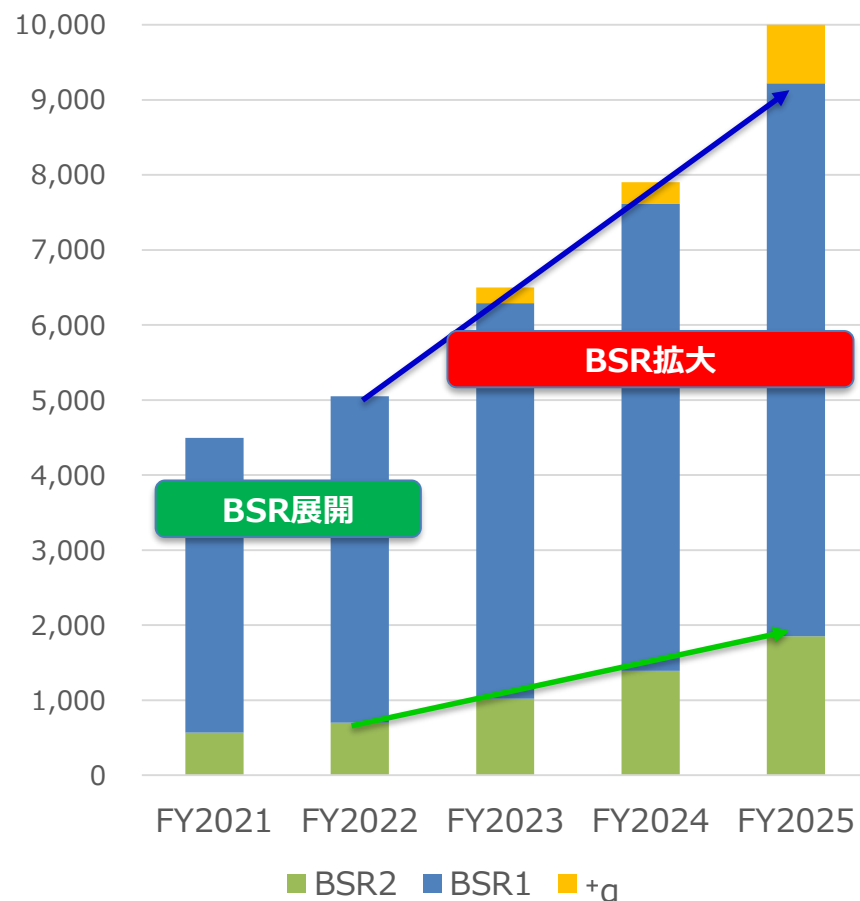
(単位：百万円)



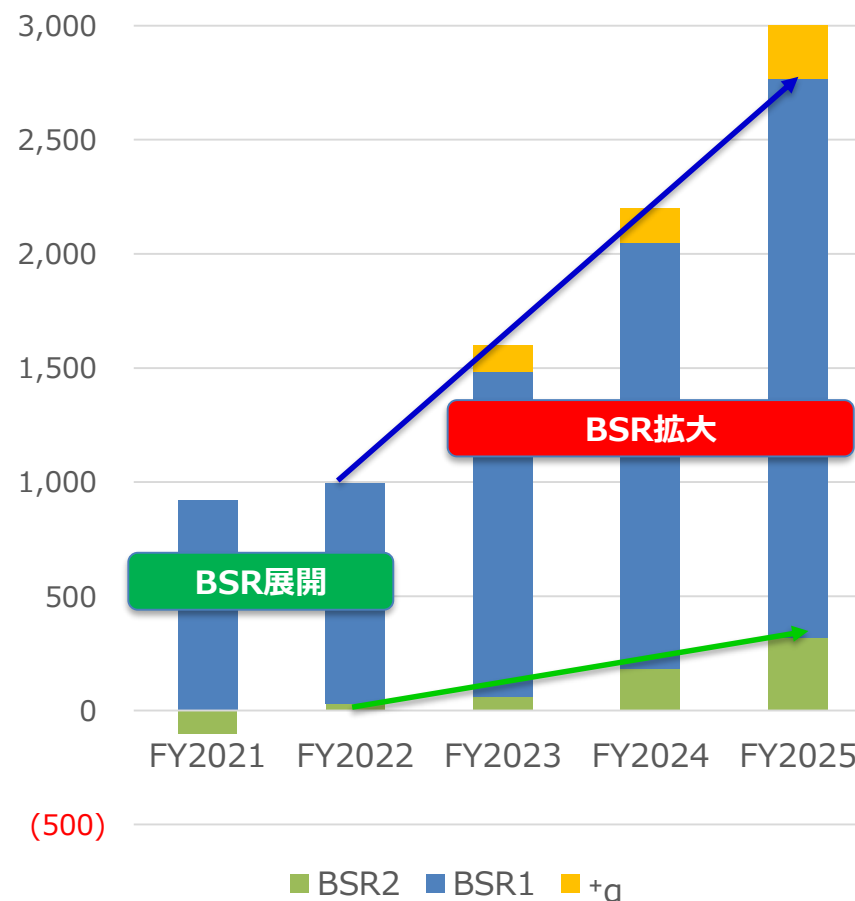
BSR 1・BSR2の計画

(単位：百万円)

売上高



営業利益



※ +α：AI連携（AISH）、音声コミュニケーションAIプラットフォーム（AAP）、M&Aなどを含む新規ビジネスによるプラス貢献

計画達成に向けた主要施策

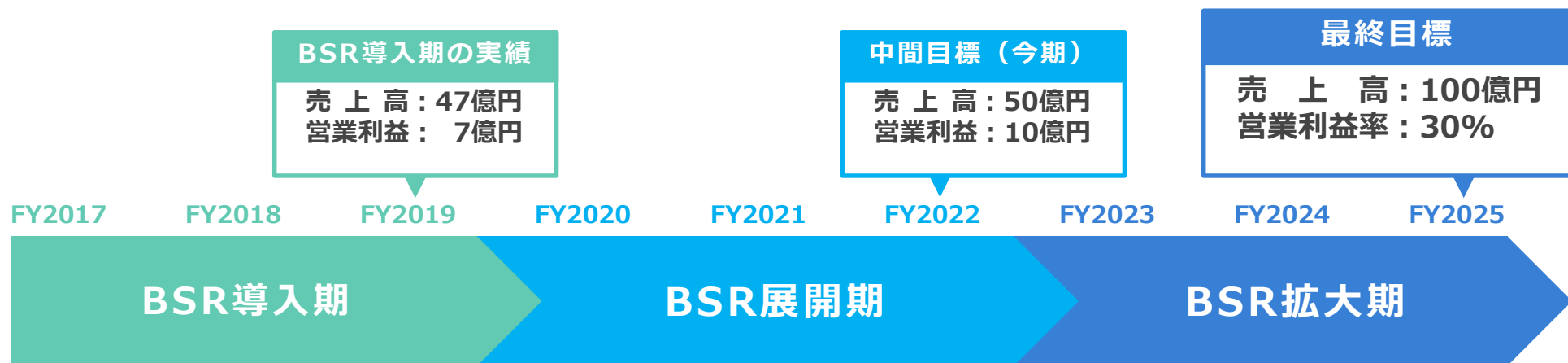
音声認識の時代の到来 ～非対面・非接触でのビジネス拡大～

- (1) 音声の文字化「声で書く」に
音声コミュニケーション「声で動かす」を付加
 - ・ テレビ会議を利用した商談/会議、在宅コンタクトセンター、オンライン診療などにおける音声認識技術の利用によるコミュニケーション支援
- (2) 顧客のデジタルトランスフォーメーション (DX) に寄与する
スピーチDX (SDX) の市場投入
 - ・ スピーチDXのプラットフォーム「AmiVoice DX Platform(ADP)」
- (3) AIアプリケーションやAIサービス向けの
音声コミュニケーションAIプラットフォームの市場投入
 - ・ AIプラットフォーム「AmiVoice AI Platform (AAP)」

AISH (アイッシュ) への道を拓いていく

AISH (アイッシュ: AI Super Humanization) とは、AIが人を助け、また、人がAIを使って能力を高める、そして、AIを超えた人の叡智などお互いの優れた点を融合し人とAIとが共存することを言う

BSR3x3・中期計画（展開から拡大へ）



1 フロービジネスの拡大 「プロダクト販売」 & 「ソリューションビジネス」

2 *AmiVoice*[®] クラウドサービス (ACS) & *AmiVoice*[®] クラウドプラットフォーム (ACP) の導入・展開

3 スピーチDXプラットフォーム (ADP)

4 音声コミュニケーションAIプラットフォーム (AAP)

5 AI連携 (AISH)



5. リスク情報



Advanced Media, Inc.

リスク情報

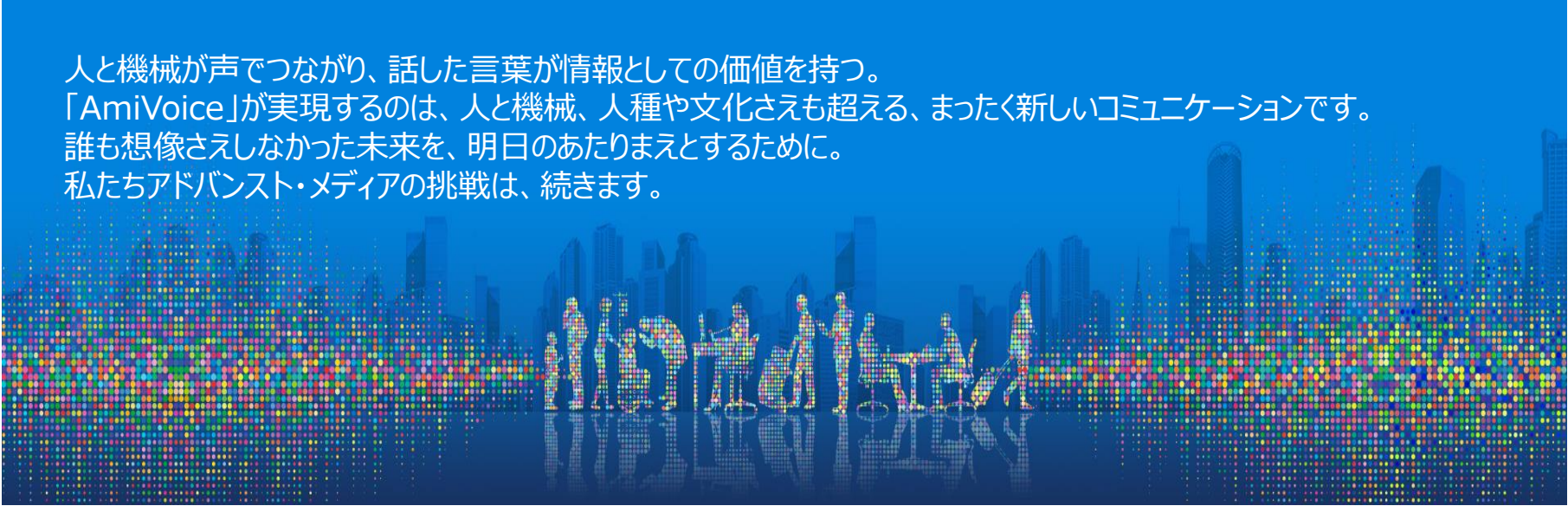
成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識している主要なリスクは以下の通りです。その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

項目	発生可能性 ／時期	概要（抜粋）	対応策
業績の変動について	中／常時	音声認識市場の展開・拡大の遅延、外部環境の変化等、当社が想定できない諸般の要因で、当社の事業が計画どおりに進捗しなかった場合には、想定している経営成績に影響する可能性があります。	「4. 事業計画」の中期計画・施策を進めるとともに、市場（外部環境）の変化に俊敏に対応してまいります。
音声認識市場創造が遅延すること	中／中長期	音声認識市場における事業創造および事業展開を行っていきます。市場創造が予想どおりに行えず、長い時間を要する可能性もあります。	「4. 事業計画」の中期計画・施策を進めるとともに、市場（外部環境）の変化に俊敏に対応してまいります。
新製品及び新技術の開発	中／中長期	現在、音声認識の基礎的な開発は終了し、既に様々な商品を販売しておりますが、今後とも技術の革新と向上が必須です。当該開発に資金や時間が想定以上に必要となった場合、当社グループが想定する売上計画が達成できなくなり、先行的に支出された研究開発費等の回収が困難になった場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。	中期計画に対して、適切な研究開発費を設定するとともに、研究開発費の内訳について選択と集中をすることで適切にコントロールしてまいります。
音声認識技術に代替する新技術の誕生	低／不明	音声認識技術に代わる新しいインターフェース等の誕生、普及により、当社の技術優位性がなくなる等、当社が明確な競争優位性を確保できなくなった場合には、当社グループの経営に影響を与える可能性があります。	音声認識技術に関連する技術動向を、基礎技術部門でフォローし続けるとともに、当社も様々な新技術に対する研究を進めてまいります。

リスク情報

項目	発生可能性 ／時期	内容（抜粋）	対応策
競合他社について	中／不明	現時点では当社の製品は、国内外の競合他社の製品と差別化されると考えておりますが、将来的に高い技術力および開発力を有する競合企業が出現することは否定できず、競争の激化によって当社の優位性が失われた場合、また、競合他社が他の有望な音声認識市場を創造開拓し、当社グループが後塵を拝した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。	音声認識技術に必要な音声や言語のデータの収集をし続けるとともに、技術革新をし続け、競争力の維持をし続けてまいります。 と同時に、他社の技術レベルを常に把握し、部分的に劣っている箇所のキャッチアップを常にしてまいります。
3 M Health Information Systems, Inc.（3 M Health社）について	低／不明	当社の音声認識技術のプログラムの一部は、3 M Health社が開発した技術を使用しております。同社とは、当社自らが自由に当該プログラムの改訂・改良・機能強化のための開発ができる契約を締結しております。しかしながら今後、何らかの理由により3 M Health社との協力関係に支障をきたした場合、現在受けている同社からの技術的な支援を得られなくなる可能性はあり、その場合当社の事業運営に影響を及ぼす可能性があります。	現状でも、当社自らが自由に当該プログラムの改訂・改良・機能強化のための開発ができるものと考えておりますが、その体制をより強固にするべく、音声認識に関する様々な技術に対する当社独自の研究をすすめてまいります。

注) 「5. リスク情報」については、当社株式の投資に関する全てのリスクを網羅したものではありません。



人と機械が声でつながり、話した言葉が情報としての価値を持つ。
「AmiVoice」が実現するのは、人と機械、人種や文化さえも超える、まったく新しいコミュニケーションです。
誰も想像さえしなかった未来を、明日のあたりまえとするために。
私たちアドバンスト・メディアの挑戦は、続きます。

- 次回の本資料の開示は、2023年6月を予定しております。
- 本開示には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

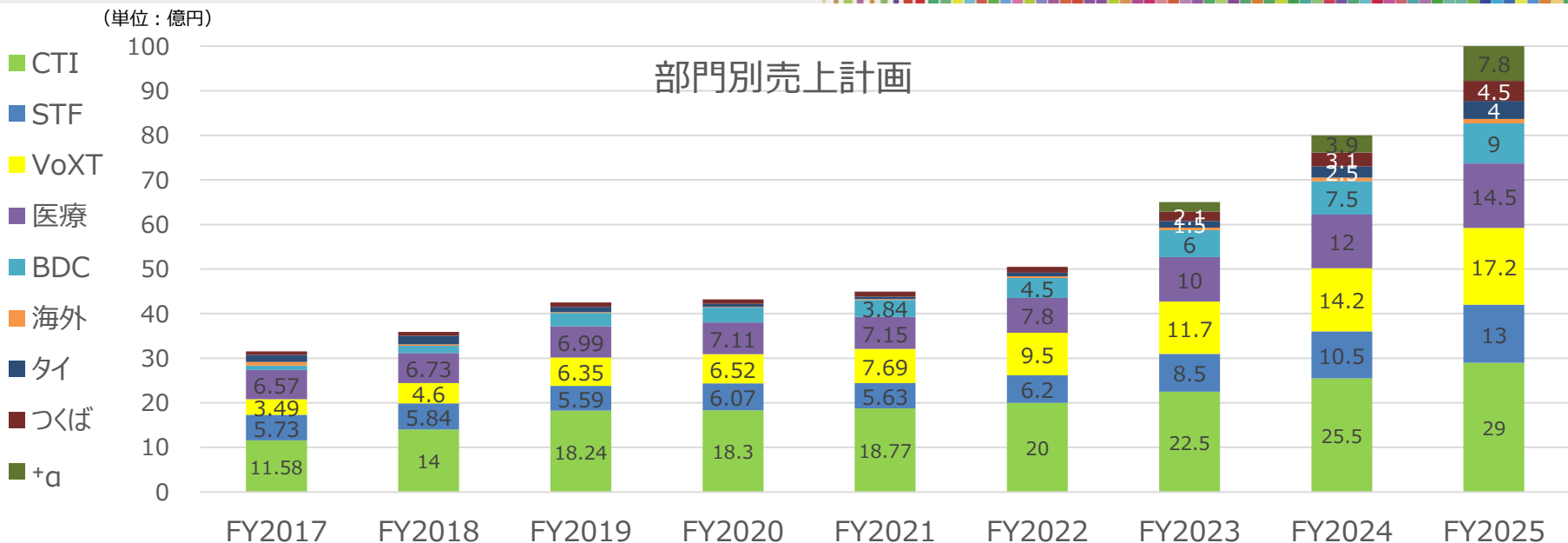


参考資料



Advanced Media, Inc.

部門別売上計画



	BSR1					BSR2					+a ※	全体計 (連結調整前)
	CTI	STF	VoXT	医療	小計	BDC	海外	タイ	つくば	小計		
FY2017	11.58	5.73	3.49	6.57	27.37	0.96	0.81	1.56	0.82	9.68	-	37.05
FY2018	14.00	5.84	4.60	6.73	31.17	1.58	0.33	1.92	0.87	11.63	-	42.79
FY2019	18.24	5.59	6.35	6.99	37.16	2.96	0.19	1.22	0.99	10.94	-	48.10
FY2020	18.30	6.07	6.52	7.11	38.00	3.37	0.17	0.67	0.96	6.77	-	44.77
FY2021	18.77	5.63	7.69	7.15	39.24	3.84	0.20	0.54	1.11	5.69	-	44.93
FY2022	20.00	6.20	9.50	7.80	43.50	4.50	0.40	0.80	1.30	7.00	-	50.50
FY2023	22.50	8.50	11.70	10.00	52.70	6.00	0.60	1.50	2.10	10.20	2.1	65.00
FY2024	25.50	10.50	14.20	12.00	62.20	7.50	0.80	2.50	3.10	13.90	3.9	80.00
FY2025	29.00	13.00	17.20	14.50	73.70	9.00	1.00	4.00	4.50	18.50	7.8	100.00

※ +a : AI連携 (AISH)、音声コミュニケーションAIプラットフォーム (AAP)、M&Aなどを含む新規ビジネスによるプラス貢献

これからの音声認識製品について

- ADX（スピーチDXプラットフォーム）：音声認識を主要素とするデジタルトランスフォーメーションプラットフォーム
 - ADX-MED：病院・クリニック向け音声AIツール
 - ADX-BIZ：ビジネス向け音声AIツール
- AISH（アイッシュ：AI Super Humanization）：AIによって能力を高めた人と優れた人の叡智との融合により人とAIとが高度なレベルで共助すること
 - AISHサービス（AI Super Humanizing）
 - 検査AISHサービス（BDC）：検査AIにより検査能力をアップさせた人材を派遣するサービス
 - 文字起こしAISHサービス（つくば速記センター）：文字起こしAIにより文字起こし能力をアップさせた人材を派遣するサービス
- ACP（AmiVoice Cloud Platform）：AI音声認識・AmiVoiceクラウドプラットフォーム
- ACS（AmiVoice Cloud Service）：AI音声認識・AmiVoiceクラウドサービス
 - ACS4T（AmiVoice Cloud Service for Telephony）：電話向けAI音声認識・AmiVoiceクラウドサービス
 - ACS4M（AmiVoice Cloud Service for Medical）：医療向けAI音声認識・AmiVoiceクラウドサービス
- AAP（AmiVoice AI Platform）：会話型AmiVoice AIプラットフォーム
 - AAP4T（AmiVoice AI Platform for Telephony）：電話用会話型AmiVoice AIプラットフォーム
- AAS（AmiVoice AI Service）：会話型AmiVoice AIサービス
 - AAS4T（AmiVoice AI Service for Telephony）：電話向け会話型AmiVoice AIサービス
 - AAS4M（AmiVoice AI Service for Medical）：医療向けAI音声認識・AmiVoiceクラウドサービス
- UPV/UPP（User Preference Viewer /Player）：企業のWebサイトに来訪者選好の動画再生やWebページ表示の機能を付加し、デジタルマーケティングの効果を高められるアプリ/サービス
- AMI（Advanced Media Integration）：先進的なメディアの融合。例えば、企業のWebサイトをUPV/UPPによりオウンドメディア化すること。